



### 1) 電子図書館の充実

同時にアクセス可能な児童書セット、電子雑誌などを導入し、さくらがわ電子図書館～SaGaCitE～の充実を図ります。  
また、電子図書館と図書館システムと連携させ、一体的なサービスを展開していきます。



### 2) デジタルアーカイブの構築

「桜川市デジタルアーカイブ」を構築します。地域資料をデータベース化し公開することで、桜川市の文化や歴史を閲覧・活用することが可能となります。「地域の文化、歴史」に関する地域資料の保存、活用を推進します。



### 3) 移動図書館車の導入

移動図書館車を導入します。市民の声を聞きながら、サービスポイントを設定し、市内全域に図書館サービスが届けられるようサービス網を整備します。



### 4) メディアマウンテンの活用

吹き抜けに面した大きな段状の壁面棚に桜川市ならではのテーマに沿い、本のみならず展示物や施設での活動の成果物等、あらゆるメディアを展示します。コミュニティの象徴としての効果的な活用も行います。



### 5) クリエイティブハブ・さくらがわテラスの活用

市民が多目的に使える共同の場クリエイティブハブでは、市民の学びと交流の場を創出します。自然学習の場さくらがわテラスでは、普段とは異なる環境での読書体験を提供し、読書活動を推進します。



### 6) 世代ごとの読書活動・施設活動推進

多様なライフスタイルを持つ市民に対する読書活動推進・施設活動推進を行うため、対象に合わせた事業展開、取り組みを行います。世代ごとにサービスを展開し、市民の読書活動・施設活動を推進します。



### 7) 施設運営

施設の運営にあたっては、公共施設の目的を果たし、平等性・公平性を確保しながら、民間らしい行きと届いたサービスと利便性を提供します。「また利用したい」と思っていただけの施設づくりを行い、利用者の増加と満足度の向上を図ります。



### 8) オープニングイベント

2024年は、国指定 名勝「櫻川」指定100周年、国指定 天然記念物「桜川のサクラ」指定50周年です。桜や本をテーマにし、人と人、人と情報が出合い、まちの賑わいを創出し、新たな文化を発信することができるイベントを開催します。